

『庄内っこ日和』

令和2年10月30日
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のまりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする“ドキュメンテーション”でした。
今回は、もも組の親子まりのこっこの様子を配信したいと思います。
晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回のまりのこっこのねらい: 親子で自然と触れ合い、他児や保育者と一緒に自然物を使って遊ぶことを楽しむ

当幼稚園の「まりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。
能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。
そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っています。(庄内の保育の根っこp37参照)

庄内の保育の根っこ



もも組親子でもりのこっこの様子 (服部緑地)



もも組の親子でもりのこっこ…内容は服部緑地公園で親子で自然遊びをしました。
ひよこ・りす組親子まりのこっこ同様に、今年度初めての取り組みだった為、予測がつかない部分もありましたが、普段の保育で子どもに行っているインタビュータイムがあったり、自然物を使用した絵本作りや、どんぐりコマ作りなど、保護者の皆様も子どもと一緒に拾った物生かしてを楽しみました。
また、親子でネイチャービンゴでは、「何を探す?どっち行きたい?」と保護者の方が子どもたちに問いかけ「まつぼっくり!」や「あっち行きたい」など、自然あそびを通して、子ども達と積極的に関わってくださっていました。
普段とは違う雰囲気、保護者の皆様がお子さん達と関わるきっかけになったのではないのでしょうか。
昼食の際に保護者の皆様に、インタビューをさせて頂きました。今回は、保護者の皆様がまりのこっこを通して感じた事を掲載したいと思います。

まりのこっこ後、保護者の皆様にインタビュー

①親子で楽しめた事

- バッタ探しを、子どもと1対1で関わりながら出来た。
- 自然物で、一緒に出来るものが多かった事で、いつもは遊具で遊ぶので、違う楽しみ方が出来た。
- 親子でのネイチャービンゴが楽しかったです。
- おめん作りを楽しみました。
- 普段は草むら入らないので、良い経験になりました。
- 外で遊べた。遊具ない所で遊ぶ事が出来ました。
- 自然の空気沢山吸えた。
- どんぐりごまを作った。
- 木登りが出来るようになった事に気付いた。
- 引っ張りっこ相撲を楽しんだ。
- 子どもと2人きりで遊ぶ事が出来た。

②自然の中で気付いた事

- まつぼっくりは、松の木の下にあるということ。当たり前だが、探すときに目印になった。
- 寒くなると公園こない。季節を感じる事が出来ました。
- 虫怖がるけど、バッタ 普段いないものがある。自然の中では、子ども達の食欲増す事に気づいた。
- 意外とまつぼっくり落ちていない。まつぼっくりはオスとメスがある。
- 大きい帽子のどんぐりがあることを知った。
- あんまりこの時期は虫がいないと思った。
- どんぐり青かった事に驚いた。
- 生き物触るんだ。興味あるんだと気付いた。
- どんぐりが好きなんだと再確認した。
- 自然が多いと良い
- 匂いを感じる事が出来た。
- 日陰は涼しいと気づきました。



当園のまりのこっこは、つみかさね(連続性)を大切に、公園の既存の遊具で遊ぶ活動は出来るだけ避けて遊べるようにしています。普段出来ない経験が出来る事で学びに繋がると考えているからです。
今回保護者の皆様にインタビューした際、その大切にしていることを捉えて答えてくださっていたので、今回まりのこっこで当園が伝えたいことが保護者の皆様に伝わったのではないかと感じています。
何より親子で遊べたことで大変子ども達の表情が豊かだったように感じています。子ども達にとっても、保護者の皆様にとってもまた、保育者にとっても良き思い出となるまりのこっこだったのではないのでしょうか。
お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。